

第5章 高齢者の人権について

(1) 高齢者に関する人権の問題

問 13. 高齢者に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印はいくつでも)

➤ 全体

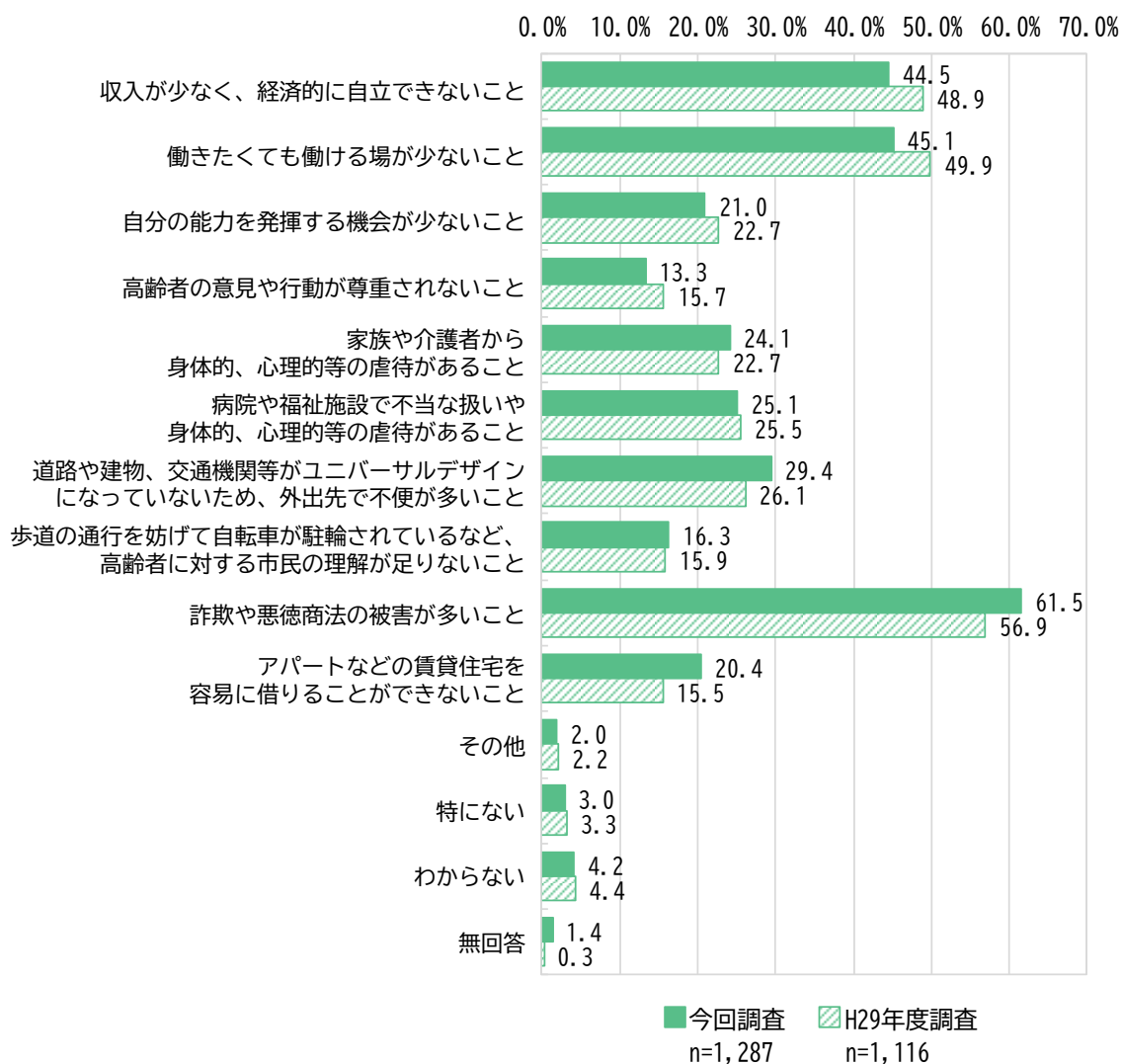
「詐欺や悪徳商法の被害が多いこと」が 61.5%で最も多く、次いで「働きたくても働ける場が少ないこと」が 45.1%、「収入が少なく、経済的に自立できないこと」が 44.5%となっています。

➤ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「詐欺や悪徳商法の被害が多いこと」「アパートなどの賃貸住宅を容易に借りることができないこと」が平成 29 年度調査よりも多くなっています。

一方、「収入が少なく、経済的に自立できないこと」「働きたくても働ける場が少ないこと」が平成 29 年度調査よりも少なくなっています。

図 5-1 高齢者に関する人権の問題



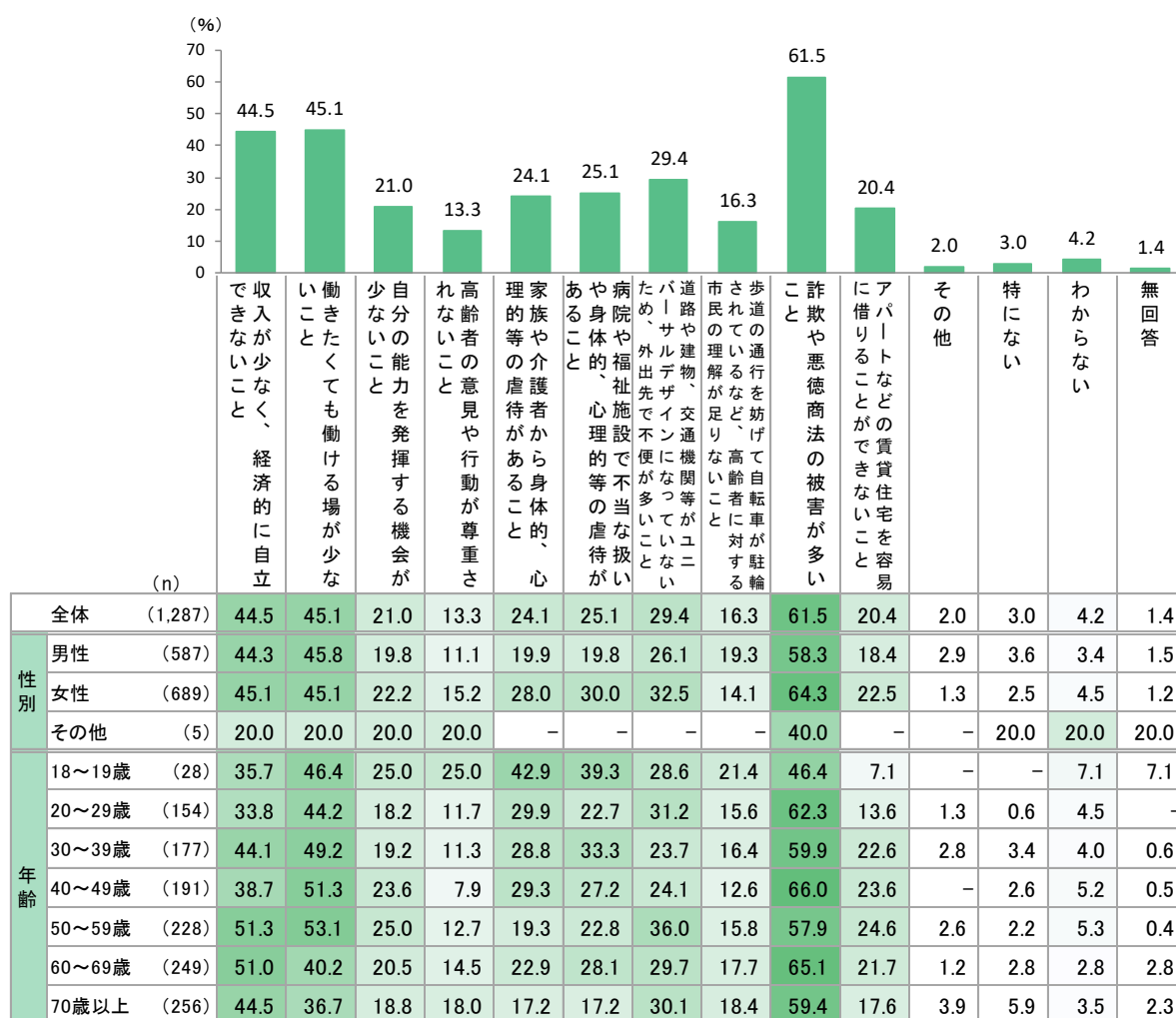
➤ 性別

“女性”で「病院や福祉施設で不当な扱いや身体的、心理的等の虐待があること」が 30.0%、「家族や介護者から身体的、心理的等の虐待があること」が 28.0%など、“男性”よりも 10 ポイント程度多くなっています。

➤ 年齢別

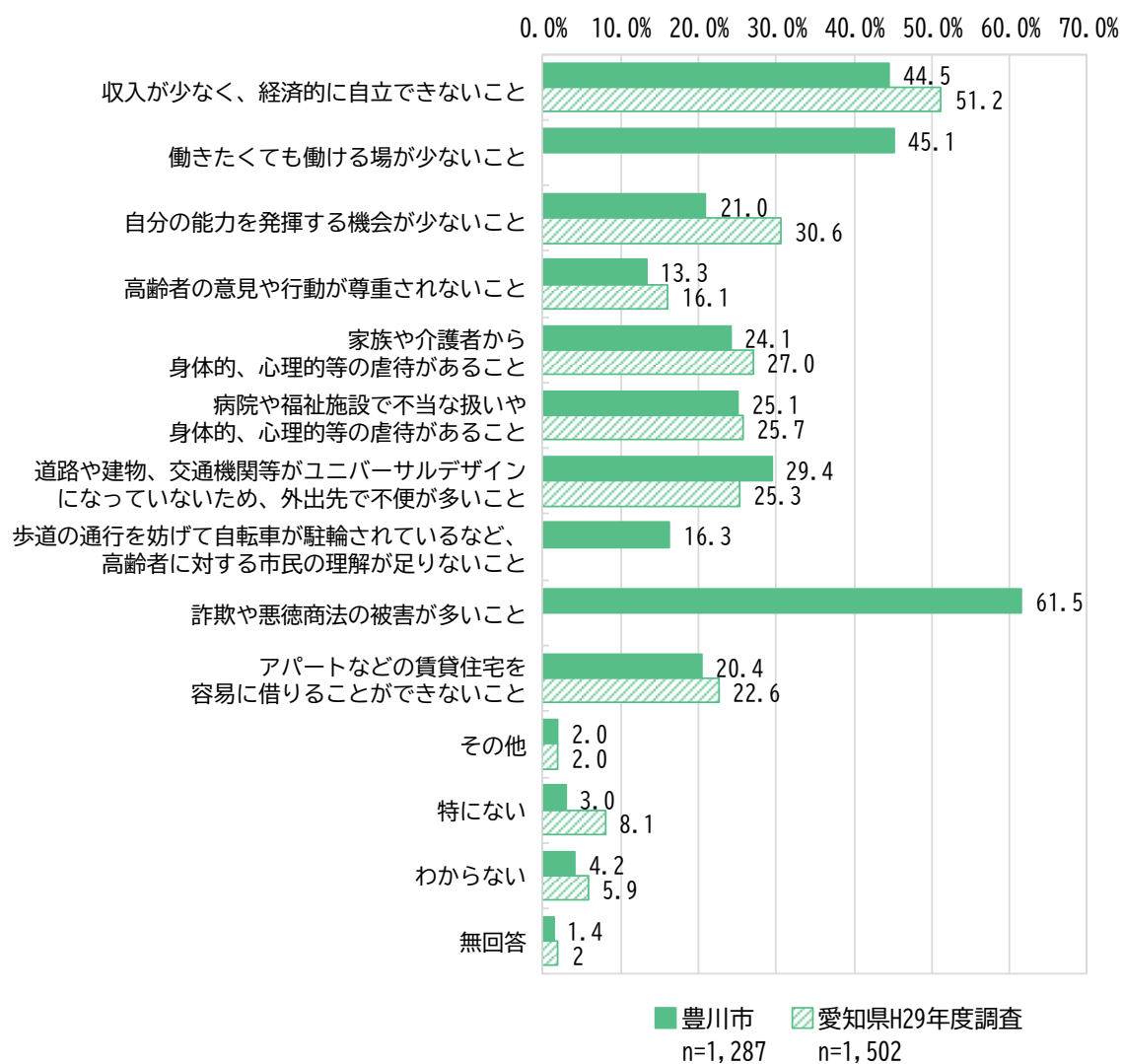
“50～69 歳”で「収入が少なく、経済的に自立できないこと」(51%以上)、“40～59 歳”で「働きたくても働ける場が少ないこと」(51%以上)など、雇用の問題に関わることが中高年齢層で多くなっています。

図5-2 高齢者に関する人権の問題（性別・年齢別）



➤ 参考 平成 29 年度愛知県調査との比較

図 5-3 高齢者に関する人権の問題（平成 29 年度愛知県調査との比較）



(2) 高齢者の人権を守るために力を入れていくべきこと

問 14. 高齢者の人権が守られるために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇印はいくつでも)

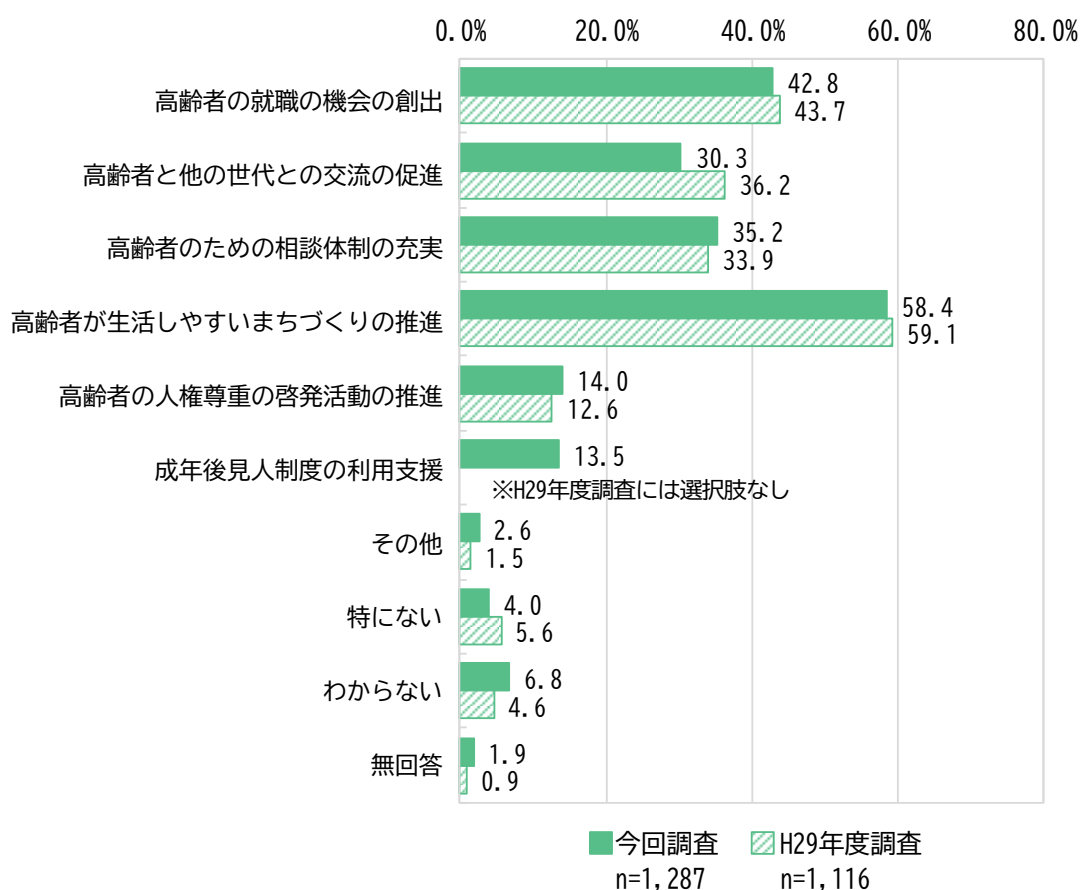
➤ 全体

「高齢者が生活しやすいまちづくりの推進」が 58.4%で最も多く、次いで「高齢者の就職の機会の創出」が 42.8%、「高齢者のための相談体制の充実」が 35.2%となっています。

➤ 平成 29 年度調査との比較

今回の調査では、「高齢者和其他の世代との交流の促進」が平成 29 年度調査よりも少なくなっています。

図 5-4 高齢者の人権を守るために力を入れていくべきこと



➤ 性別

“女性”で、「高齢者が生活しやすいまちづくりの推進」が 62.0%、「高齢者のための相談体制の充実」が 37.4%と、“男性”より多くなっています。

➤ 年齢別

“30～59 歳”で「高齢者の就職の機会の創出」（48%以上），“50～69 歳”で「高齢者が生活しやすいまちづくりの推進」（64%以上）が他の年齢層よりも多く、中高年で特色のある回答が見られます。

図 5-5 高齢者の人権を守るために力を入れていくべきこと（性別・年齢別）

